

教育

edu@asahi.com

日曜～水曜掲載

公立学校に民間教育 手探り

社会に役立つ「志」発表 ■ 体育と道徳「融合」

「体育と道徳の融合授業」として行われたマナーキッズプロジェクト二ノ教室＝茨城県守谷市



公立学校の教育活動に、志や礼儀など独自の教育方針を掲げる民間団体の手法を取り入れる動きが広がっている。2020年度から小学校で全面実施される学習指導要領で、家庭や地域社会との連携がとられているが、連携授業などに特別なルールはなく、現場に任されているのが実態だ。

「私の志は、明るく楽しい朝食にするためにパン屋さんになり、たくさんの人を幸せにすることです」

京都市にある成基コミュニティグループの個別指導塾。7月、小中学生11人が、志教育のワークショップに参加し、自分の志を発表した。

志教育は、一般社団法人「志教育プロジェクト」(出口光理事長)が提唱。キャリア教育と似ているが、自分心の「夢」ではなく、社会の役に立つための「志」を立てることに特徴がある。

この日は、同プロジェクトの教育専生実行連絡協議会が出版した漫画テキスト「夢を叶える方法」に沿って進められた。キャリアクーターデザインは、漫画家の松本零士氏が担当している。

テキストは、「二霊四魂」という考え方を軸に、「勇・親・愛・智」の中から自分の

性格に近いタイプを選び、「志のタネ」を見つけていく流れだ。目標の達成のために、いつ何をすればいいかを「登山図」に書き込み、最後に志を発表する。

パン屋さんという志を語った中学3年の中野郷人さんは、「昔からパンが好きだったけど、現実味がなかった。思っていたことを振り返ることで、実現の可能性がある」と話した。

成基コミュニティグループの佐々木喜一代表(60)は、志教育プロジェクトの副理事長だ。政府の教育専生実行会議の有識者でもある。同プロジェクトには、下村博文・元文相や松浦正人・前山口県防衛市長などが賛同している。

埼玉県吉川市は昨年度、教育委員会と職員3人が志教育の研修を受け、今年度から市独自の「志ノート」を小中学生に配布した。小学校8校、

中学校3校で9年間を通し、学級活動や道徳、総合学習の時間などに活用し、中学3年生時点で「志を立てる」ことを目標にしているという。現在、吉川市の中原厚人市長などは「宗教とは」という反対意見も出たが、「二霊

基準なし「活動の目的考慮を」

茨城県の守谷市立松前台小学校では、3月、2年生1人が、体育館で「体育と道徳の融合授業」を受けた。公益社団法人「マナーキッズプロジェクト」(東京都杉並区)によるマナー教室だ。

指導者は、地域のボランティアなど6歳以上の男女が中心。「マナーキッズの基本は、あいさつとお辞儀です」と、最初に狙いが説明された。

次に、タオルを上に掲げて、落ちてくる間に何回手をたたけるかを競ったり、2人組でタオルを引っ張り合った。その間、必ず「よろしくお願いします」「あいさつを交わす。」「あいさつの際は、相手の目を見て言います」というポイントも教えられた。

指導者が投げたマナーボールを打ち返す際には、「お辞儀は頭を下げるのではなく、腰を下げます」と注意する場面もあったが、和やかな雰囲気だった。

当時の根本泰校長によると、この授業は、地域のボランティアから提案された。

マナーキッズプロジェクトは2010年度、東京都品川区の事業として初めて採用され、17年度は、横浜市教育局と協力し、市内の小中学校20校で実施された。マナーキッズ教室を開いた小学校は現

在、38都道府県の498校にのぼる。同プロジェクトの理事長の田中日出男さん(77)は、「日本人らしい礼儀正しさを美しい姿勢を伝えていきたい」と話す。

文部科学省によると、連携授業は「地域の事情に応じて実施する」といい、基準はない。関西学院大の教員智恵子教授(教壇社登等)は、「市民が活動の内容について関心をもち、何のための活動なのか、子どもが中心に置かれているかどうかを考慮することが大事」と指摘する。

(杉原聖夏)

も答えてくれます。

初回は筑波宇宙センター(茨

城県つくば市)で、朝小の子ど

も記者が金井さんについてインタビュ

ー。「宇宙飛行士になるため

に、一番必要なことは?」「小

学生のときからの得意教科は?」な

どを聞き出した。連載は来年3

月まで毎月1回、最終木曜日に

今週の朝日小学生新聞

http://www.asagaku.com/

宇宙航空研究開発機構(JAXA)の宇宙飛行士・金井宣茂さん(41)による連載「グッドブックエスチョン」が、26日からスタートします。最新の宇宙の話題